

R 5 縄文の衣

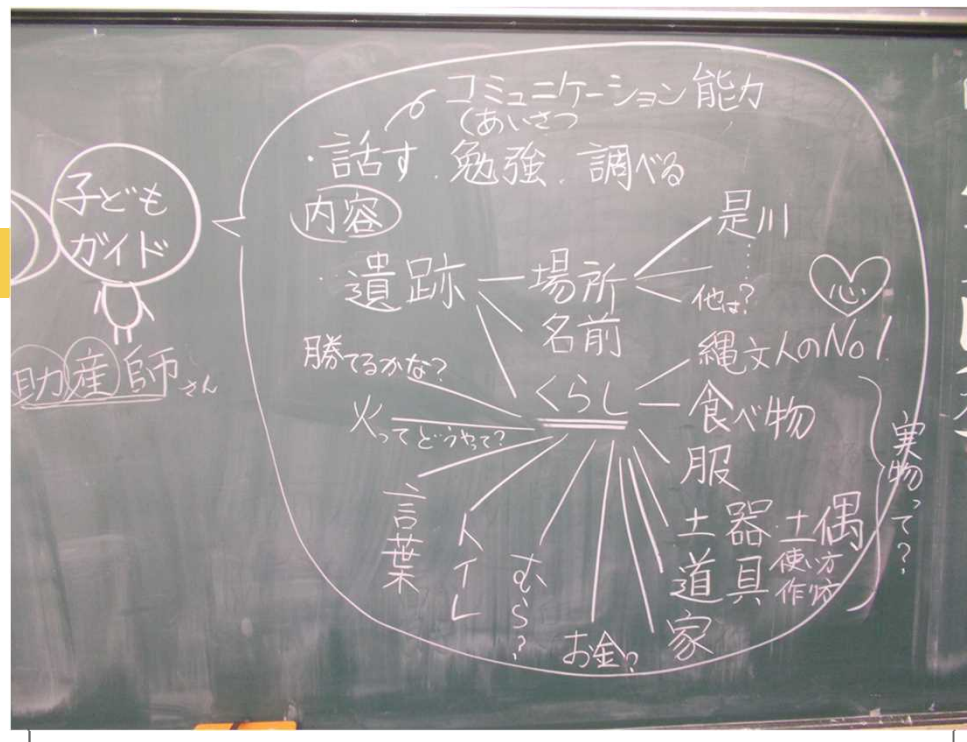
4年生 総合的な学習の時間
縄文学習の実践

1 学期：4月 ①（1 時間）〔小学校〕

○オリエンテーション

- ・ 縄文の衣（衣服）について学んでいくことについて共通理解。

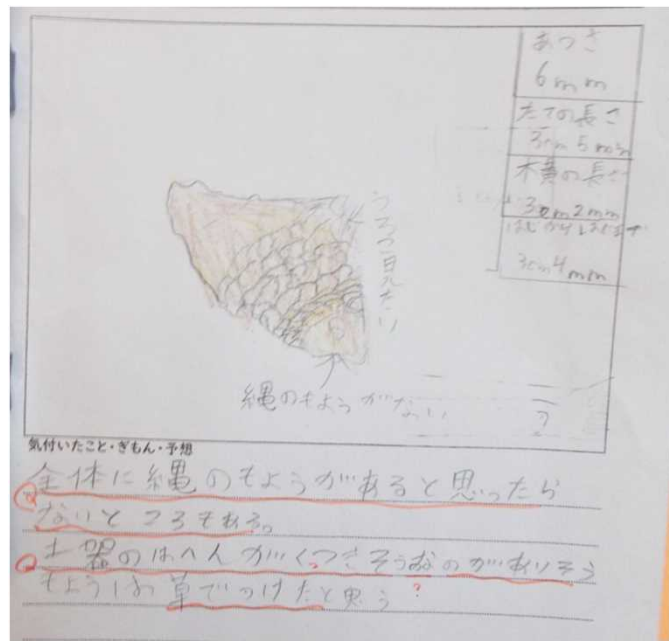
- ・ 当時、衣服（布・糸）は何で作られていたか予想する。



1 学期：4月 ②（1 時間）〔小学校〕

○土器を観察・スケッチ

- ・ ○○さんの家の畑から出土した土器を観察・スケッチ。
- ・ 縄目の跡から、縄の繊維に関心を深める。



1 学期：7月 ③（5時間）〔縄文館〕

○風張土器作り・カラムシから繊維採取（1）

・風張土器（例年4年生が作成）をカラムシの刈り取り時期に合わせ、早めに作った。土器に押しつける縄に目を向けさせる。〔縄文館〕

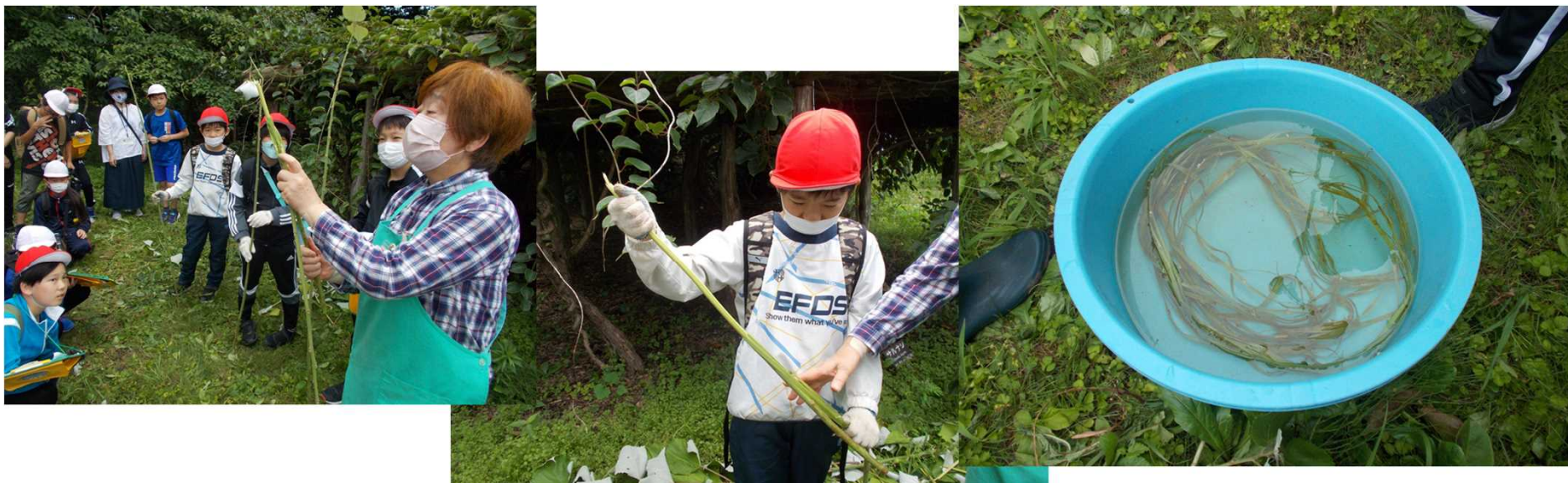
・繊維のもととなる、苧麻カラムシの刈り取り・繊維の取り出し体験。（代表各3名ずつ）〔旧縄文学習館〕

・ボランティアさんによる繊維の余分な部分をこそげとる作業を見学。〔旧縄文学習館〕



1 学期：7月 ③（5時間）〔縄文館〕

○風張土器作り・カラムシから繊維採取（2）



※春先にカラムシの苗（根）を分けて縄文館から分けていただいたが、学校では膝丈程度にしか育たなかった。

1 学期：7月 ③（5時間）〔縄文館〕

○風張土器作り・カラムシから繊維採取（3）



2 学期：10 月 ④（4 時間）〔縄文館〕

○出土した布の観察・編み方講座（1）

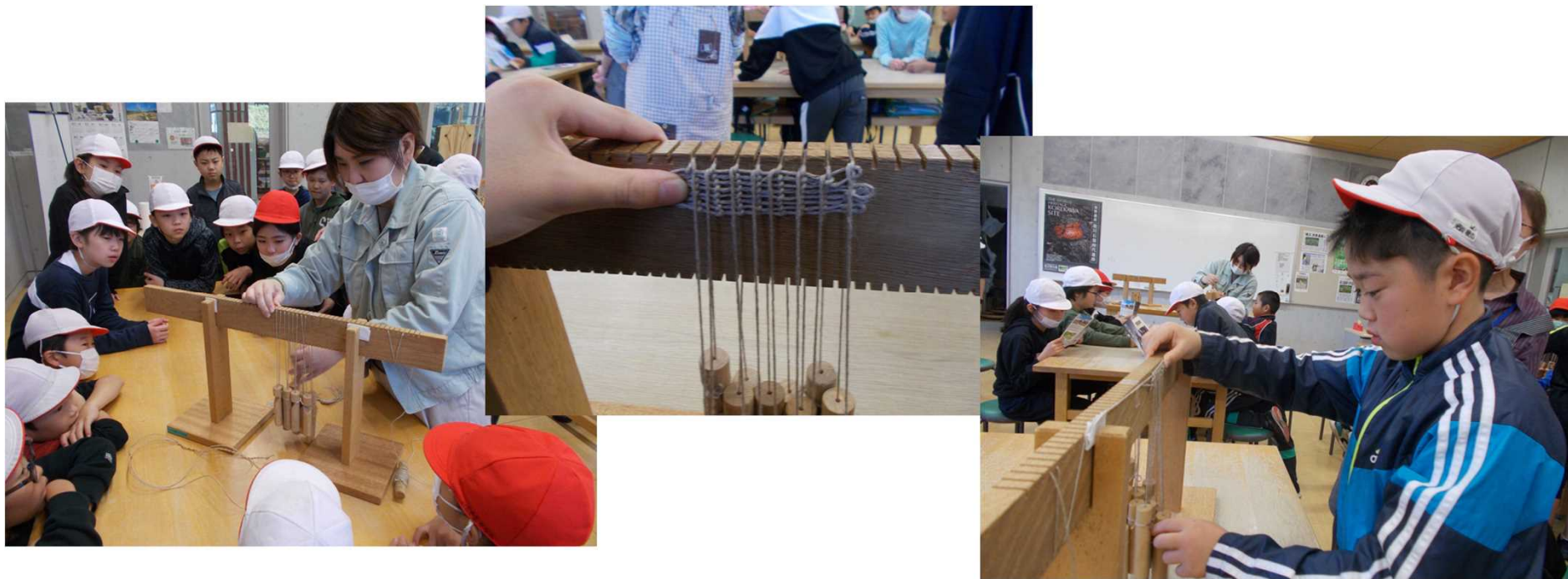
・ 前回の体験学習で学芸員さんから宿題として出された「腐りやすい植物の繊維が出土した秘密」の答え合わせ。漆の不純物を漉しとるための布として使用された出土物を観察。

・ 縄文の布に近い編み方の「越後アンギン」を体験。5・6 人の 6 グループにボランティアさん 1 名。経糸 8 本で 7・8 段を作成。持ち帰り。



2 学期：10 月 ④（ 4 時間 ）〔 縄文館 〕

○出土した布の観察・編み方講座（ 2 ）



2 学期：11月 ⑤（3時間）〔小学校〕

○アングンの編具を自作して布を編む（1）

- ・ **ケタ**（ひもをかける部分）として、**段ボール**にカッターで1 cm間隔の溝をほった。

- ・ **コモツチ**（経糸を結びつけて垂らす道具）は、**木製のクリップ**を購入し、経糸をはさんで垂らした。

- ・ **ジュート（麻ひも）**の白・黄・茶・赤を手芸用品店（トーカイ、ラピア）で購入

※100均の麻ひもは、撚りが緩みやすいので難しい。1回の撚りではないものが緩みづらい。

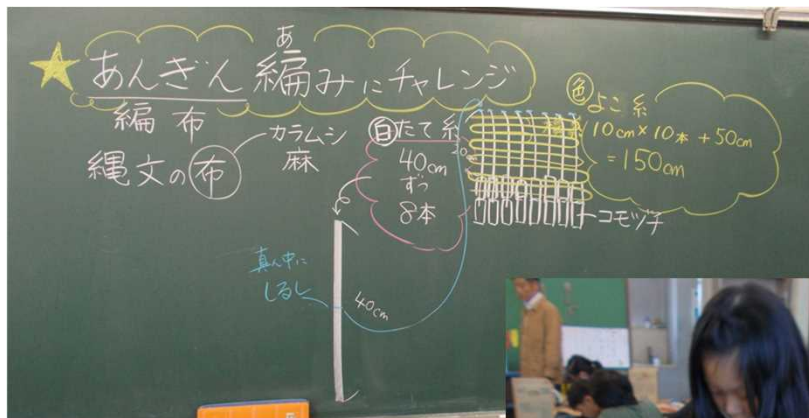


2 学期：11月 ⑤（3時間）〔小学校〕

○アングンの編具を自作して布を編む（2）

- ・ 経糸40cm（垂らすのは半分の20cm）
緯糸150cmに切らせる。

※今回は緯糸が短かったので、横長の長方形になった。緯糸をもう少し長くすると、コースターサイズの正方形の布ができる。



- ・ 最速40分程度で編みあげた。
- ・ 自宅で全て自作した子もいた。



2 学期：11月 ⑥（3時間）〔小学校〕

○アングンをそれぞれで研究計画（1）

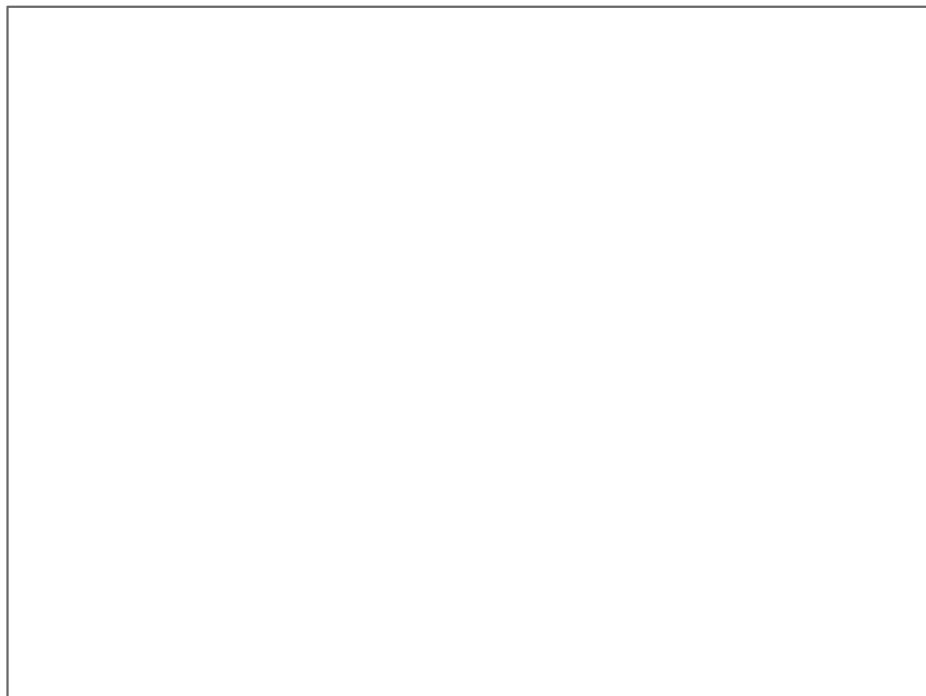
・それぞれでテーマを決める。

①自然のもので編具を作る

②大きなアングンを編む

③実用品（袋）を作る

④編み方を変えてアングンを編む

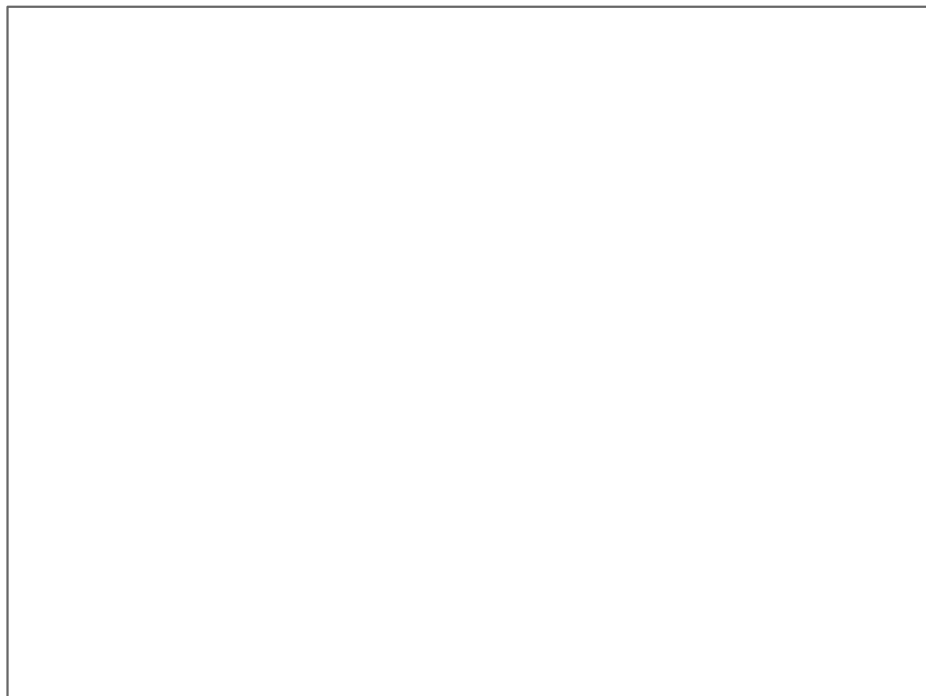


2 学期：11月 ⑥（3時間）〔小学校〕

○アングンをそれぞれで研究計画（2）

・製作に移る前に、連絡をとって縄文館の方から縄文の学習で適当であるかアドバイスをもらう。⇒アングンの資料をいただく。別の編み方を教わる。〔担任・縄文館〕

※染色については出土例がないので、今回は行わなかった。



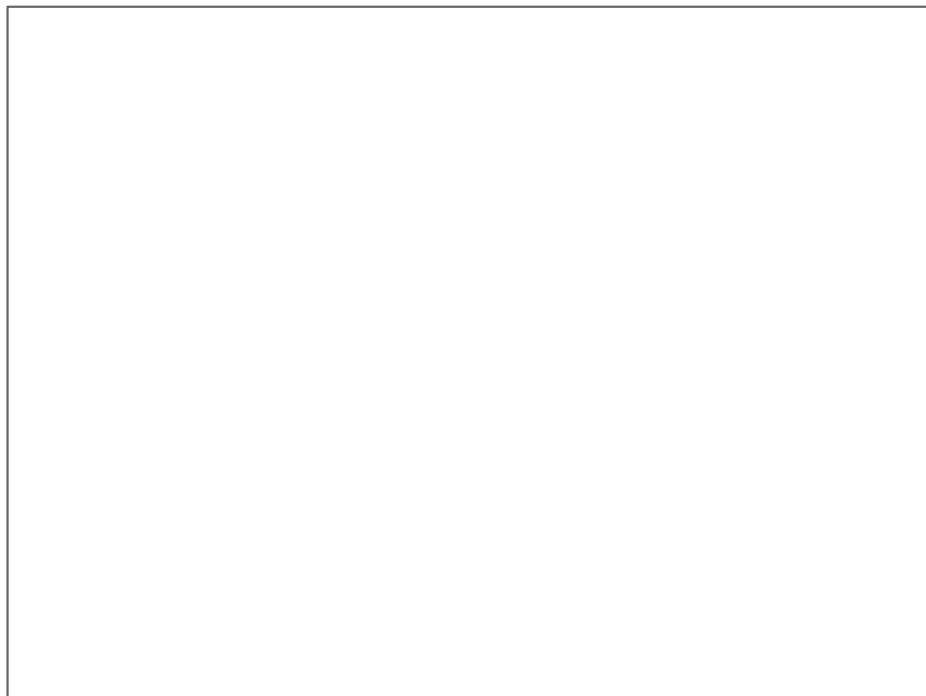
2 学期：11月 ⑦（2時間）〔小学校〕

○チームを作って研究計画書作成

- ・4つの内容に分かれる。その中で、個人、または数人でチームを作る。

- ・計画書に、作成するものの図（大きさ・特徴）、必要なもの、進め方をそれぞれ書かせる。

⇒それをもとに、ジュートなど必要なものを買い足したり、用務員さんに材料調達の協力をあおぐ。



2 学期：12月 ⑧（8時間）〔小学校〕

○アングンについて深める（1）

- ・計画をもとに、それぞれでアングンや編具の作成に取り組む。



2 学期：12月 ⑧（8時間）〔小学校〕

○アングンについて深める（2）



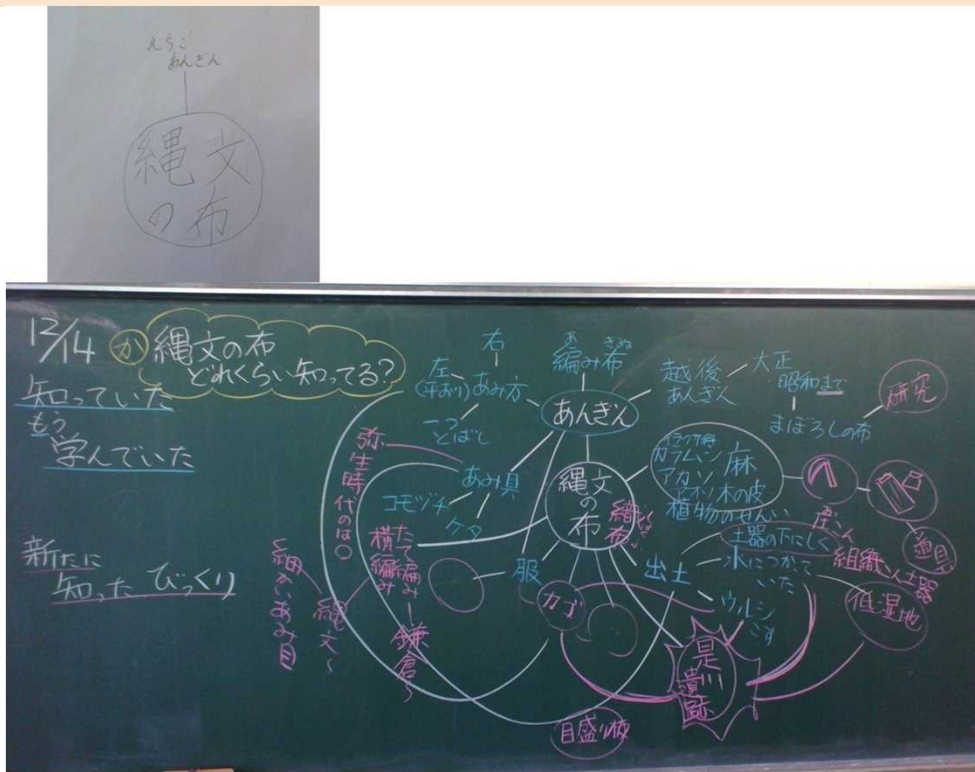
3学期：1・2月 ⑨（8時間）〔小学校〕

○まとめ作業

- ・それぞれでアングインに関するものの作成を進めながら、紹介の仕方についても話し合わせる。

- ・進みが速い児童には、これまでの縄文の布についての情報（体験・資料・講義）を整理させ、新聞・スライドにまとめさせる。

- ・発表に向けてリハーサルをする。



3学期：1月 ⑩（1時間）〔小学校〕

○縄文の服について出前授業

・縄文館の学芸員さんを招いて、縄文の布に関するものの出土例や考えられる衣服について講義を受ける。



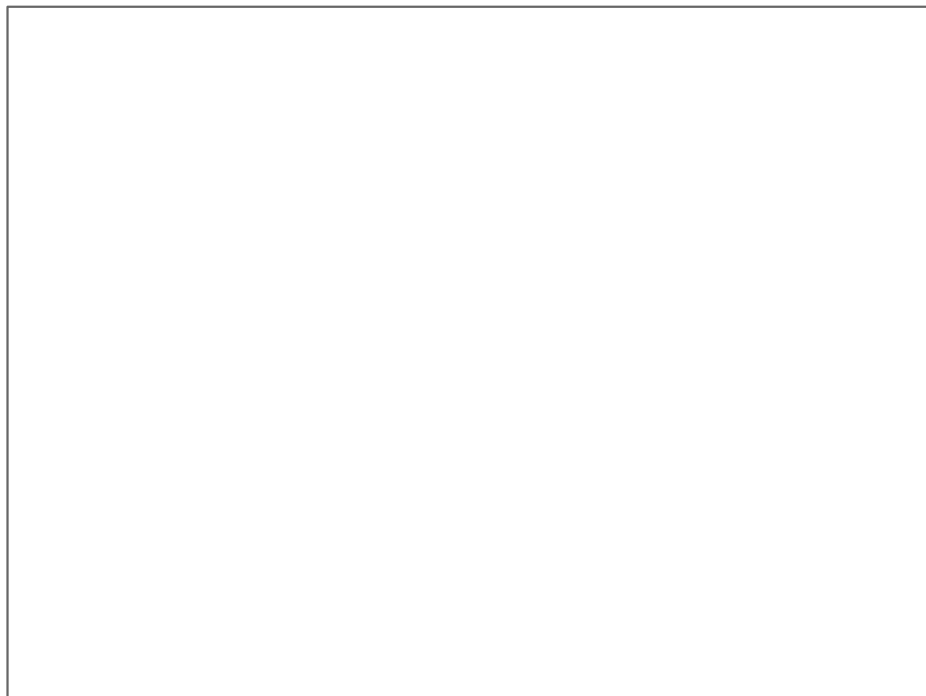
縄文館と相談の上実施せず

※冬場の移動・時数をかけた分だけの活動ができないため。土偶から探るにしても「想像」の段階。

3学期：2月 ⑪（1時間）〔小学校〕

○発表【年度最後の参観日】

- ・縄文の布について、作成した資料をもとに発表する。
- ・それぞれでアンギンに関する成果物の紹介をする。
- ・保護者とともにアンギンを体験してもらう。



3学期：3月 ⑫（2時間）〔小学校〕

○振り返り

・ 縄文の布について、今までの調べ学習、アングンの製作、発表について
振り返り、交流する。

・ 校内に成果物を展示する。



もう一度この学年をやるならコーナー

- ・春にカラムシの苗を縄文館から譲ってもらうか

市販のものを多めに購入し、

学校田に植え付け、観察 & 刈り取り & 繊維取り

- ・学級園は、ヘチマとサツマイモ・ジャガイモにしぼる

イモ類は1年生と焼き芋会に使用（作物の種類が多いとの管理と調理、振り返りなどで時間がかかる）

ヘチマは理科で活用（ただし連作障害を避けるため、柿の木の下以外で育てる）

- ・見通しがもててきたので、それぞれの段階をつめて早めに取り組む

□学期：□月○←段階（□時間）〔場所〕

○主要内容を端的に（○）←段階の中でのページ数

・活動内容、進め方、おらい、留意事項、必要なもの、下準備、縄文館とのやり取りなど、簡単に記入

作成後、このページは最後に移動させてください。

写真・資料など
（複数枚であれば、次ページ
に写真などを載せる）